

セーフコミュニティってなんだろう??

Q1. そもそも、どんなコミュニティのことなの?

「事故やケガは偶然に起こるのではなく、予防できる」と考えて、事故やケガの予防に取り組んでいるコミュニティのこと。

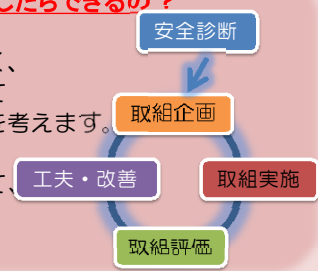
このコミュニティには、地域の皆さんや、市役所、警察、消防、医療機関など、地域に関わる全ての人が含まれています。



Q2. 事故やケガの予防ってどうしたらできるの?

思いつきで予防に取り組むのではなく、統計データやアンケート結果を使って事故やケガの原因を調べ、予防策を考えます。

取組み後はしっかり効果を確認して、予防策の見直しも行います。



鹿児島市では、「交通安全」「学校の安全」「子どもの安全」「高齢者の安全」「DV防止」「自殺予防」「防災・災害対策」の7分野に取り組んでいます。

「交通安全分野」の取組

目 標

高齢者の交通事故減少、子ども（中学生以下）の交通事故減少、自動車による交通事故減少

取 組

【高齢者】

参加・体験型の交通安全教室、夜光反射材の着用啓発 等

【子ども】

保護者等も含めた参加・体験型の交通安全教室（歩行中、自転車乗車中）

【自動車】

シートベルト着用の啓発活動、高齢運転者への安全運転講習 等

【その他】

交通安全マップの作成



新年度、児童の交通事故に気を付けましょう!

年度の始まりは、新小学1年生の皆さんが学校に通いはじめたり、通学路や通勤経路が変わって慣れない道を通る方が増えたり、交通事故の危険性が高くなる時期です。

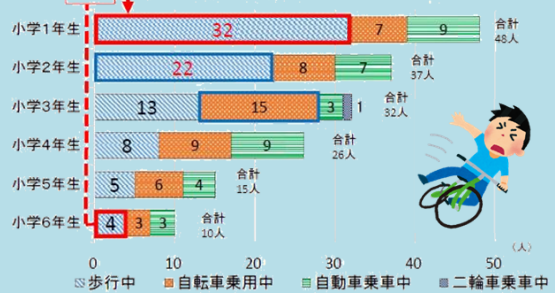
警察庁のまとめで、2017年までの5年間の歩行中の交通事故による死者数について、小学1年生は小学6年生の8倍であることが分かりました。また、小学生の歩行中の事故は、登下校中が3分の1を占めていたことも分かっています。

子どもに対し、交通事故防止を教えるためには、まず、大人が普段から「交通ルール遵守の手本を示す」ことが大切です。

この機会に子どもたちと一緒に交通安全について考えてみませんか?

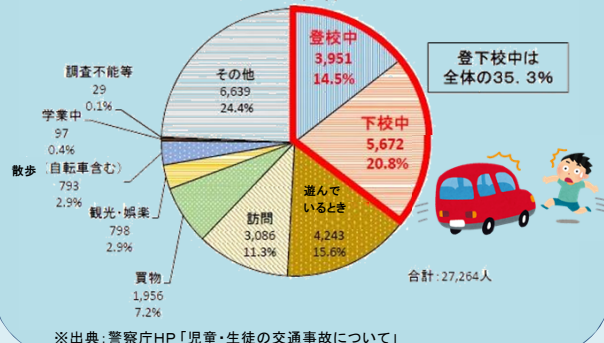


小学生の状況別死者数 H25～H29(5年)



※出典：警察庁HP「児童・生徒の交通事故について」

通行目的別死傷者数(歩行中) H25～H29(5年)



※出典：警察庁HP「児童・生徒の交通事故について」

セーフコミュニティの取組みを進めよう

セーフコミュニティの取組に興味をお持ちの地域組織等がありましたら、安心安全課(TEL:099-216-1512)までご連絡ください。取組事例等についてご紹介いたします。現在地域組織で行っている安心安全に関する活動にちょっとした工夫を加えることで、セーフコミュニティの取組みになることも!